

記入例 赤字を記入

【省エネ様式2】

省エネ様式5の【省エネに資する機器】を組み合わせて導入する場合、機器1以下に記載。

・必ず補足資料(省エネ様式4、5)と整合する

・小数第1位まで記載(第2位を四捨五入)
・必ず補足資料(省エネ様式4、5)の【⑦省エネルギー効果(%)】と整合することを

小数第1位まで表示(第2位を四捨五入)。
削減率の合算ではないため注意。
※下記の(計算例)を参照。

ALPS基金事業
仕様性能証明書 (漁船用エンジン及び省エネに資する機器)

設置場所 ・船名 ・使用者				メーカー名 (取扱会社名)	機器名称(型式)	機器概要	削減率 ※2	削減率計 ※3
〇〇丸 ・省エネ太郎 記載	導入前	漁船用エンジン	被代替機関	●●(株)	ABC-D	連続出力:250.5kW		
			既設機器 ※1 (2基掛けのみ記載)	●●(株)	ABC-D	連続出力:250.5kW		
	導入後	漁船用エンジン	導入機関	◎◎(株)	DEZ-A	連続出力:220.1kW	7.5%	19.9%
			既設機器 ※1 (2基掛けのみ記載)	●●(株)	ABC-D	連続出力:250.5kW		
		省エネに資する機器	機器1	××(株)	エコモニター	エンジンの状態の「見える化」により効率的な航行を支援する機器	3.0%	
			機器2	▲▲(株)	CFRPプロペラ	炭素繊維強化プラスチック(CFRP)	5.0%	
			機器3	(株)〇〇	最適航路選定	最適航路選定システム	6.0%	
			機器4					

※1 エンジンを複数掛けとしている場合は、既設機器(入替しない機器)を含めて省エネルギー効果を算出すること(3基掛け以上の場合は行を追加)。

※2 補足資料(省エネ様式4-1~5-6)で算出した省エネ効果を転記すること。小数第1位まで記載(第2位を四捨五入)。

※3 削減率計={1-(1-機関1の削減率)×(1-機器1の削減率)}×100で計算すること(加算しない)。小数第1位まで記載(第2位を四捨五入)。

『連続出力:〇〇kW』と記載すること。
連続出力が小数第1位以下まで記載されている機関は、四捨五入せず記載すること。

・当様式(省エネ様式2)は、補足資料(省エネ様式4、5)の表紙として、必ず提出すること(エンジンのみでも提出)。必ず補足資料と整合することをご確認ください。

・小数点以下の表示(リストやデータ通りに記載)や、単位(kW等の正確な表記)にご注意ください。

・提出はエクセルでもPDFでも構いません(作成者の押印は不要)。

令和〇年〇〇月〇〇日

作成者 〇〇株式会社

当証明書を作成する、メーカー・販売店もしくは業者が記載(補足資料の『(メー

記入例 赤文字を記入

リストの通りに記載(小数点以下も四捨五入)

(補足資料)【省エネ様式4-1】

船内機(船内外機)の省エネ効果

設置場所 ・船名 ・使用者			①メーカー名	②リスト番号 ※1	③機関名称	④連続出力(kW)	⑤4モード 燃料消費率 (g/kWh) ※2	⑥燃料消費量(L/h) ※3 ④×⑤÷0.84÷ 1000	⑦燃料消費量(L/h) 合計	⑧省エネルギー効果 (%)※4	⑨一覧表NO. ※5
								自動計算	自動計算	自動計算	
〇〇丸 ・省エネ太郎	導入前	被代替機関	●●(株)		ABC-D	250.5 kW	300.40	89.58 L/h	179.16 L/h	7.5%	●● 15
		既設機器※6 (2基掛けのみ記載)	●●(株)		ABC-D	250.5 kW	300.40	89.58 L/h			●● 15
	導入後	導入機関	◎◎(株)	◎◎ 55	DEZ-A	220.1 kW	290.65	76.16 L/h	165.74 L/h		◎◎ 30
		既設機器※6 (2基掛けのみ記載)	●●(株)		ABC-D	250.5 kW	300.40	89.58 L/h			●● 15

※1 水産庁事業の「省エネ機器設備リスト」を指す(http://www.systemkyokai.or.jp/osirase/syouenekikidounyuusuisinn/Energy_saving_equipment_list.pdf)。

既設機器(機器構成が2基以上の場合、
交換しない方の機器)を記載すること。
既設機器を撤去する場合は、導入後の既
設機器欄は空欄とすること。

被代替機関・代替機関燃料消費率一覧表
がない場合は、※4に記す機関の性能デ
ータを、 $0.15 + 2/4 \text{ 負荷燃料消費率} \times 0.15 + 3/4 \text{ 負荷燃料消費率}$ により算出して記載すること。

・「②リスト番号」には、リストの「番号」を記入
すること。
型式認定機関証書番号ではないため注意。

※2 ④×⑤÷0.84÷1000により算出して記載すること。

※3 導入前後の燃料消費量は、④連続出力(kW)×⑤4モード燃料消費率(g/kWh)÷0.84÷1000により算出。
計算結果は小数点3位を四捨五入し、2位まで記載すること。

※4 省エネルギー効果(%)=((導入前-導入後)÷導入前)。

※5 一覧表NO.は被代替機関・代替機関燃料消費率の一覧表NO.を記載すること
なお、一覧表に該当機種がない場合は、「機関の性能データ添付」と記載し、同データを添付すること

※6 エンジンを複数掛けとしている場合は、既設機器(入替しない機器)を含めて省エネルギー効果を算出すること(3基掛け以上の場合は行を追加)

- ・潤滑油については、燃料でないことから上記の証明に入れていません。
- ・本事業の条件に拘わらず、地域等で出力制限等がある場合にはご留意・遵守をお願いします。
- ・上記の表中の燃料消費量を含め、不明な点などはメーカーまたは販売店にお問い合わせください。

一般社団法人 漁業経営安定化推進協会
代表理事会長 三浦 秀樹 殿

日付と事業実施者を必ず記載すること。

メーカーまたは販売店の押印

ALPS事業継続基金事業の申請にあたり本紙を提出します。本紙の内容に相違はありません。
なお、本紙の内容に事実と異なることがある場合には、認定を取り消されても異議申し立ては一切致しません。

令和〇年〇〇月〇〇日

事業実施者 省エネ太郎

(メーカーまたは販売店)

〇〇株式会社

例

省エネ機器設備リスト(②船内機、船内外機)

メーカー名	番号	機関名称	仕様	連続出力 (kW)	型式認定機関 証書番号	船内外機
◎◎ (株)	1	2GMFY		9.4	23-065	
	2	3JH3		25.0	23-067	
	3	3JH3S		25.0	23-067	
	4	4JH3		33.8	23-072	

例

被代替機器・代替機器燃料消費率一覧表

メーカー名	機関名称	連続出力 (kW)	総行程容積 (L)	連続出力時 燃料消費率 (g/kWh)	4モード 燃料消費率 (g/kWh)
◎◎ (株)	1 UM2KC1	10.3	0.653	361.7	378.38
	2 UM3KC1	16.1	0.980	276.0	307.27
	3 UM03AB1	25.7	1.78	277.4	293.41
	4 UMC240M	32.1	2.37	289.6	296.67

印

記入例 赤文字を記入

(補足資料)【省エネ様式4-2】

船外機の省エネ効果

設置場所 ・船名 ・使用者		①メーカー名		②リスト番号 ※1	③機関名称	④連続出力(kW)	⑤連続出力時 燃料消費率 (g/kWh) ※4	⑥燃料消費量(L/h) ※2 ④×⑤÷0.74÷1000	⑦燃料消費量(L/h) 合計	⑧省エネルギー効果 (%) ※3	備 考
								自動計算	自動計算	自動計算	
●○○丸 ・省エネ太郎	導入前	被代替機関	●●●(株)	▲	ABC-D	250.5 kW	300.40	101.69 L/h	203.38 L/h	7.5%	
		既設機器※5 (2基掛けのみ記載)	●●●(株)		ABC-D	250.5 kW	300.40	101.69 L/h			
	導入後	導入機関	◎◎◎(株)	◎◎ 55	DEZ-A	220.1 kW	290.65	86.45 L/h	188.14 L/h		
		既設機器※5 (2基掛けのみ記載)	●●●(株)	▲	ABC-D	250.5 kW	300.40	101.69 L/h			

※1 水産庁事業の「省エネ機器設備リスト」を指す(http://www.systemkivokai.or.jp/osirase/syouenekikidounyuusuisin/Energy_saving_equipment_list.pdf)。

既設機器(機器構成が2基以上の場合、
交換しない方の機器)を記載すること。
既設機器を撤去する場合は、導入後の既

連続出力(kW)×⑤連続出力時燃料消費率((g/kw・h)÷0.74÷1000)により算出。
を四捨五入し、2位まで記載すること。(0.74はガソリンの比重)

小数点以下も四捨五入せずに記載し、

※3 省エネルギー効果(%)=((導入前-導入後)÷導入前)

※4 船外機の性能データを添付すること

※5 エンジン複数掛けとしている場合は、既設機器(入替しない機器)を含めて省エネルギー効果を算出すること(3基掛け以上の場合は行を追加)

・『②リスト番号』には、リストの『番号』を記入すること。

- ・潤滑油については、燃料でないことから上記の証明に入れていません。
- ・本事業の条件に拘わらず、地域等で出力制限等がある場合にはご留意・遵守をお願いします。
- ・上記の表中の燃料消費量を含め、不明な点などはメーカーまたは販売店にお問い合わせください。

一般社団法人 漁業経営安定化推進協会
代表理事 三浦 秀樹 殿

日付と事業実施者を必ず記載すること。

ALPS事業継続基金事業の申請にあたり本紙を提出します。本紙の内容に相違はありません。
なお、本紙の内容に事実と異なることがある場合には、認定を取り消されても異議申し立ては一切致しません。

令和〇年〇〇月〇〇日

事業実施者 省エネ太郎

(メーカーまたは販売店)

メーカーまたは販売店の押印

〇〇株式会社

例

省エネ機器設備リスト(①船外機)

メーカー名	番号	機関名称	型式認定機関証書番号
◎◎(株)	1	02503F (DF25)	17-0012
	2	00801F (DF8A)	23-0005
	3	00994F (DF9.9A)	23-0006
	4	00992F (DF9.9)	17-0013

印

記入例 赤文字を記入

小数点以下を切捨

小数第1位まで記載(第2位を四捨五入)

小数第2位まで記載(第3位を四捨五入)

小数第1位まで記載(第2位を四捨五入)

(補足資料)【省エネ様式5-1】

1. エンジンの状態の「見える化」により効率的な航行を支援する機器による省エネ効果 (往復航行時は船用3乗で試算)

■現状と同じ使用方法で運行した場合

代替機	行程	機関回転数 min-1	速力 kt	主機関負荷率 %	機関出力 kW	1時間当たりの 燃料消費量 L/h	運行時間 h	燃料消費量 L
代替機：1ABC-DEF 連続出力：423kW 回転数：2084min-1	往路	1,945	10.0	81.3	343.9	84.7	0.50	42.4
	操業	—	—	30.0	126.9	31.3	4.00	125.2
	復路	1,843	8.5	69.2	292.7	72.1	0.53	38.2
合計								205.8

■見える化装置を導入して、機関回転数 1,800 回転で航行する。

代替機	行程	機関回転数 min-1	速力 kt	主機関負荷率 %	機関出力 kW	1時間当たりの 燃料消費量 L/h	運行時間 h	燃料消費量 L
代替機：1ABC-DEF	往路	1,800	9.3	64.4	272.4	67.1	0.54	36.2
	操業	—	—	30.0	126.9	31.3	4.00	125.2
	復路	1,800	8.3	64.4	272.4	67.1	0.54	36.2
合計								197.6

※燃料消費量は4モード燃料消費率を用いて算出する。

※上記数値の根拠資料（ヒアリングシート）を添付してください。

エンジンの状態を「見える化」する機器を導入した場合の省エネ効果

4.0%

小数第1位まで記載(第2位を四捨五入)

一般社団法人 漁業経営安定化推進協会
代表理事会長 三浦 秀樹 殿

ALPS事業継続基金事業の申請にあたり本紙を提出します。本紙の内容に相違はありません。
なお、本紙の内容に事実と異なることがある場合には、認定を取り消されても異議申し立ては一切致しません。

令和〇年〇〇月〇〇日

事業実施者 〇〇 〇〇

(メーカーまたは販売店)

〇〇株式会社

印

日付と事業実施者を必ず記載すること。

メーカーまたは販売店の押印

それぞれ『端数処理後の数値』を記載すること。

(例) 計算結果42.35→端数処理：小数第1位まで記載(第2位を四捨五入) 42.4と記載。

記入例 赤文字を記入

(補足資料)【省エネ様式5-2、3】

2. フィン付プロペラキャップによる省エネ効果

製品の名称・プロペラ主要目(翼数/直径/ピッチ/展開面積比/軸径/ボス下端径など):

〇〇株式会社製 製品名〇〇 φXX . . . (詳細を記載)

フィン付プロペラキャップを導入した場合の省エネ効果

2.0%

小数第1位まで記載
(第2位を四捨五入)

3. 炭素繊維強化プラスチック(CFRP)による省エネ効果

製品の主要目(翼数/直径/ピッチ/展開面積比など):

炭素繊維強化プラスチック(CFRP)の省エネ効果

5.0%

小数第1位まで記載
(第2位を四捨五入)

一般社団法人 漁業経営安定化推進協会
代表理事会長 三浦 秀樹 殿

ALPS事業継続基金事業の申請にあたり本紙を提出します。本紙の内容に相違はありません。
なお、本紙の内容に事実と異なることがある場合には、認定を取り消されても異議申し立ては一切致しません。

令和〇年〇〇月〇〇日

事業実施者 省エネ太郎

(メーカーまたは販売店)

〇〇株式会社

印

日付と事業実施者を必ず記載すること。

メーカーまたは販売店の押印

(補足資料) 【省エネ様式 5-4】

4. 増速することで主機関を効率的な回転数まで下げて運転することで省エネを支援する機器による省エネ (往復航行時は船用3乗で試算)

■現状と同じ使用方法で運行した場合 (船用3乗で試算)

代替機	行程	機関回転数 min-1	速力 kt	主機関負荷 %	1時間当たりの 燃料消費量 L/h	運行時間 h	燃料消費量 L
	往路	記載例：今後の更新で提示					
	操業						
	復路						
	合計						

■増速機を導入することで、操業時の機関回転数 回転数下げて使用回転を適正化

代替機	行程	機関回転数 min-1	速力 kt	主機関負荷 %	1時間当たりの 燃料消費量 L/h	運行時間 h	燃料消費量 L
増速機	往路						
	操業		—	—			
	復路						
	合計						

※燃料消費量は4モード燃料消費率を用いて算出する。
※操業時の増速機の効果は、一律5%燃費改善できるものとする。
※上記数値の根拠資料 (ヒアリングシート) を添付してください。

増速機を導入した場合の省エネ効果	
------------------	--

一般社団法人 漁業経営安定化推進協会
代表理事会長 三浦 秀樹 殿

ALPS事業継続基金事業の申請にあたり本紙を提出します。本紙の内容に相違はありません。
なお、本紙の内容に事実と異なることがある場合には、認定を取り消されても異議申し立ては一切致しません。

令和〇年〇〇月〇〇日 事業実施者 〇〇 〇〇

(メーカーまたは販売店)

印

(補足資料) 【省エネ様式 5-5】

5. 航行時や曳網時で減速機を切り替えることで、省エネを支援する機器による省エネ (往復航行時は船用3乗で試算)

■ 現状と同じ使用方法で運行した場合

代替機	行程	機関回転数 min-1	速力 kt	主機関負荷 %	1時間当たりの 燃料消費量 L/h	運行時間 h	燃料消費量 L
	往路	記載例：今後の更新で提示					
	操業						
	復路						
合計							

■ 2段減速機を導入することで、操業時の機関回転数を 回転迄上げて過負荷状態を回避

代替機		行程	機関回転数 min-1	速力 kt	主機関負荷 %	1時間当たりの 燃料消費量 L/h	運行時間 h	燃料消費量 L
		往路						
		操業		—	—			
1速 速比	2速 速比	復路						
		合計						

※燃料消費量は4モード燃料消費率を用いて算出する。

※操業中の2段減速の効果は、一律 3%燃費改善できるものとする。

※上記数値の根拠資料（ヒアリングシート）を添付してください。

2段減速機を導入した場合の省エネ効果	
--------------------	--

一般社団法人 漁業経営安定化推進協会
代表理事会長 三浦 秀樹 殿

ALPS事業継続基金事業の申請にあたり本紙を提出します。本紙の内容に相違はありません。
なお、本紙の内容に事実と異なることがある場合には、認定を取り消されても異議申し立ては一切致しません。

令和〇年〇〇月〇〇日 事業実施者 〇〇 〇〇

(メーカーまたは販売店)

印

(補足資料) 【省エネ様式 5－6】

6. 最適航路選定システムによる省エネ効果 (1年間における多くのシミュレーション結果の平均値)

■ 従来と同じ航路を航行した場合

	航海	指定航海時間 h	燃料消費量 L (1)	平均速力 kt	航走距離 nm
	往路	記載例：今後の更新で提示			
	操業				
	復路				

■ 最適航路選定システムによる航路を航行した場合 (1年間における多くのシミュレーション結果の平均値)

	航海	指定航海時間 h	燃料消費量 L (2)	平均速力 kt	航走距離 nm
	往路				
	操業				
	復路				

※上記数値の根拠資料 (ヒアリングシート) を添付してください。

※往路・復路の燃料消費量のシミュレーション結果の根拠資料を添付してください。

② 最適航路選定システムを導入した場合の省エネ効果

$$= \{ (1) - (2) \} / (1) \times 100 \%$$

※従来の燃料消費量の平均値を (1)、導入後の燃料消費量の平均値を (2) とする。

一般社団法人 漁業経営安定化推進協会
代表理事会長 三浦 秀樹 殿

ALPS事業継続基金事業の申請にあたり本紙を提出します。本紙の内容に相違はありません。
なお、本紙の内容に事実と異なることがある場合には、認定を取り消されても異議申し立ては一切致しません。

令和〇年〇〇月〇〇日 事業実施者 〇〇 〇〇

(メーカーまたは販売店)

印